Peatixコミュニティガイドライン：イベント・コミュニティ活動を安心して楽しむための大切な指針

共有用の URL: http://ptix.at/pupqmq　ツイート　いいね！ 70　シェア



診療報酬改定・調剤報酬改定総括、フォーミュラリー取組事例【Road to 2022年診療報酬改定 第６回】定員300名

詳細

「Road to 2022年診療報酬改定」講演会シリーズ（全６回）。

最終回第６回目のゲスト講師は、調剤薬局のみならず病院も経営されている狭間 研至 先生です。

※ 本セミナーは「Zoomのミーティング形式」で行います。顔出し、音出ししていただける方は優先的に演者に質問ができます。もちろん顔出し、音出しなしでも参加できます。なお、申し訳ございませんが、調剤薬局の同業者のご参加はご遠慮いただいております。

2022年2月は診療報酬改定、調剤報酬改定の詳細が決まっている時期である。

まさに一番旬の時期にそれぞれの改定総括を紹介する。

狭間研至先生が経営されるファルメディコ株式会社では、調剤薬局にて「FINDAT」を導入。

「FINDAT」導入により、先発医薬品から後発医薬品への転換が進み、薬剤費の削減が図られている。

以下、狭間先生のFacebookより

＞弊社では、「薬剤師が、薬を渡すまでではなく、のんだ後までフォローすれば、薬物治療の質は飛躍的に向上する」という確信のもと、事業を展開して参りました。

重要なのは、薬剤師のFollow, Assessment, Feedback(FAF)であり、そのキーになるのは、薬剤師が薬学的な専門性を活かして、いかに正しくAssessmentを行うかということです。質の高い、より正しいAssessmentができることにより、薬剤師から医師へのFeedbackの内容がよい正しい物になり、医薬協業型の薬物治療管理が可能になります。モノからヒトへの流れが、業務的にも、法律的にも、調剤報酬的にも進みつつある現在、薬局が持つ質は、薬剤師のFAFにかかってくると弊社では考えてきました。

今回の「FINDAT」の利活用を通じて、FAFの質を引き上げ、よりよい薬物治療の提供に邁進するとともに、そこで得られた知見を、多くの薬局・薬剤師の皆様に発信していくこと

で、弊社の目指す「新しい医療環境の創造」の実現に向けて、邁進して参りたいと思います。

質疑応答・ディスカッションでは、調剤報酬にも詳しい狭間先生にもご登壇いただき、診療報酬・調剤報酬について議論する。

1　講演①「2022年度診療報酬改定」18:30～19:00
東日本税理士法人　代表社員
長　英　一　郎　氏

続きを読む (javascript:void(0))

追加情報

タイトル は 診療報酬改定・調剤報酬改定総括、フォーミュラリー取組事例【Road to 2022年診療報酬改定 第6回】定員300名 に変更されました。 差分 2021-09-21 21:33:09

コメント0件　並び替え 古い順

コメントを追加...

Facebookコメントプラグイン

2022/02/05 (土)
18:30 - 20:30 JST

カレンダーに追加

会場　オンライン

チケット

参加費

チケットを申し込む

売切・販売終了前に通知

主催者

患者視点の医療経営　主催者：長（おさ）英一郎



フォロワー数: 524

主催者へ連絡　グループをフォロー

参加者
150

かよりん

bacchus

wata

Nom

おこのみさき

参加者一覧